

第10回災害対策本部会議における知事コメント

本日も、酷暑の中での活動、大変お疲れ様です。

津島現地対策本部長をはじめ、各省庁、関係機関の皆様におかれましても、被災者のニーズに臨機応変に対応いただき、感謝申し上げます。

初めての週末でもあり、この土日で倒壊したご自宅や家具の片付けなど、たくさんの汗をかきながら、活動された方も多いと思いますが、各機関のご協力により、被災した地域に近い場所での「入浴支援」の取組みが広がっています。

本日から宇城市・三角港で測量船「平洋（へいよう）」での入浴支援が始まっており、さらに八代港くまモンポートでも、巡視船「かんばい」による入浴支援が始まりました。

入浴だけでなく、「給水」や「充電」などにも対応いただくなど、海上保安庁の皆様には、深く御礼を申し上げます。

また、海上自衛隊でも、三角港で支援艦「えんしゅう」が、八代港では掃海母艦（そうかいぼかん）「ぶんご」による入浴支援が、本日夕方から始まります。

八代港の「ぶんご」については、市内からのマイクロバスによる輸送も実施いただくなど、被災者に寄り添った支援を実施していただいております。

日中の活動でかいた汗を洗い流すことは、単に衛生面だけでなく、被災された方々の精神面でもリフレッシュできるものだと思います。海上保安庁、海上自衛隊の皆様の取組みに感謝するとともに、引き続きのご協力をよろしくお願いします。

そして、1点、県民の皆さま、全国の皆さまへのお願いがあります。

被災地では道路も被災していることから、渋滞が発生しています。

被災された方々の命を守るための救助救援活動や支援物資の輸送が円滑に進められるよう、宇城・八代地域など被害の大きかった地域への不要不急の訪問は控えていただきますよう、ご協力をお願いします。

それでは、明日も酷暑の予報が出ています。国や関係機関の皆様と力を合わせて、乗り越えていきましょう。引き続き、よろしくお願いします。